

敬語「させていただく」の無関係型用法に対する印象の世代間比較：動画を用いた評定に基づく考察

大内 一輝

キーワード 敬語, させていただく, 世代差, 文法化, 動画による印象評定

1 はじめに

「書類の方、確認させていただきます。」「素晴らしい演技に感動させていただきました。」——本稿でとりあげる「(お・ご)～(さ)させていただきます」は、近頃使用回数が増加傾向にあるとみられる、比較的改まった場面での会話の中で用いられる敬語の形式の一種である。この敬語形式は、基本的には、ア) 相手側又は第三者の許可を受けて行い、イ) そのことで恩恵を受けるという事実や気持ちのある場合に使われる(文化庁『敬語の指針』2007)。近年ではこれらの場合に当てはまらない場合でも使用されることが増え、2007年の文化庁による審議会でも「させていただく」について議論がなされている。

「させていただく」についての考察や調査は以前から盛んにおこなわれている。

井上(1998, 2017)では、「～させていただきます」は「～せてもらう」の敬意低減の結果生まれた用法であると考察している。敬意逋(低)減とは、ことばの丁寧さの度合が使われているうちに以前より下がり乱暴に感じられる傾向のことを言う(井上1998)。問題となる「させていただく」の用法について、滝浦(2016)では、相手側の許可を受けていない「“無許可”型」(例:「本日休業させていただきます。」)、相手側の許可の有無を考慮していない「“実質的強制”型」(例:(受付で)「では書類を確認させていただきます。」)、相手側の許可の有無は関係なく、またその行為によって相手側が恩恵を受けることもない「“無関係”型」(例:「このたび△△大学を卒業させていただきました。」)の3類型に分けることができるとしている。椎名(2017)では調査にあたって通常の英文法を「恩恵表現」に関して拡張した仮構の「ベネファクティブ英語」を設定し、「させていただく」の用法の分類を行ったうえで調査を行っている。

「させていただく」の用法について、用例を紙面で提示する質問紙形式での違和感の調査は複数の研究で行われている。一方で、実際に「させていただく」を多用する人物に対する印象はどのようなものかということについての調査はまだ行われていない。そこで本稿では、「させていただく」を多用する人物が聞き手にどのような印象を与えるのか、またその印象は年齢や性別によって異なるのか、またそれはどのような異なり方なのかを動画を用いた調査を行った。また同時に従来の用例提示による調査も行い、「させていただく」の使用が文に対する違和感にどのような影響を与えているのかについても調査した。

これまでの研究により、「させていただく」について主に以下のことが明らかになっている。

①「させていただく」の用法には、広く受け入れられるものと一般に誤用とされるものがある。その判断基準としては、「させていただく」を使用する文において前接する本動詞が示す事柄が成立する際に「聞き手」が必須の参与者であるかどうかが一番大きなファクターといえる。また、「使役性」も判断基準のひとつと考えられる。（椎名（2017））

②「させていただく」に対する違和感について、若年層と中高年層のあいだに世代間のずれが存在する。（塩田（2016）,椎名（2017））

本調査においては「させていただく」の変化が現在進行中のものである（井上 1998, 2017, 滝浦 2016, 椎名 2017）という指摘をもとに仮説を立てている。一方で塩田（2016）の「高齢者ほど「させていただく」を好む」という調査結果も存在する。この点についても、本調査による仮説の検証に加えて考察を加えていきたい。

先行研究をもとにして、本稿では次のような仮説を立てて調査を行った。

仮説①：第一部における印象評定の結果は、

「させて型」：若年層では「丁寧さ」・「謙虚さ」、

高齢層では「卑屈さ」が強く感じられる。

「する型」：若年層では「尊大さ」、

高齢層では「立派さ」が強く感じられる。

仮説②：第二部における文の違和感評定の結果は、

- 「使役性」・「必須性」の低い文ほど、「させて型」に対する違和感が強い
- 高齢層ほど、全体的に「させて型」に対する違和感が強くなる

3 調査

3.1. 調査方法

本調査は、Web上のクラウドソーシングサイト、「CrowdWorks」

(URL→<https://crowdworks.jp/>)を用いて行った。

調査は二部構成になっている。第一部が動画を見たうえでの印象評定、第二部が動画内で使用された「させていただく」を用いた文の違和感評定である。

調査では、椎名（2017）で示されている調査文例を参考に作成した22文のターゲット文を使用した。（ターゲット文の内容は表1,2参照）

予備調査として、東北大学の学生17名に対してターゲット文における「必須性」・「使役性」の程度を1（全く感じない）～4（非常に強く感じる）の四段階で評価してもらうアンケートを実施した。予備調査で得られた結果をクラスタ分析で分析し、ターゲット文を「必須性」・「使役性」の視点から低使役・必須性のクラスタ1、中程度の使役・必須性のクラスタ2の2つに分類した。（ターゲット文の使役性・必須性に関する分布図は本文20ページの図1を参照）

第一部では、事前に撮影した新規卒業生向けの企業説明会を模した動画を実験参加者に見せ、それに対する印象を「丁寧さ」・「立派さ」・「尊大さ」・「卑屈さ」・「謙虚さ」の5項目でそれぞれ1（まったく感じない）～6（非常に感じる）の6段階で評定してもらう作業を行った。動画は22のターゲット文において「させていただく」を使用するもの（以降、「させて型」と「させていただく」の部分を「させていただく」以外で適切な言い回しに置換したもの（以降、「する型」）の2種類を用意し、実験参加者には2つのうちのどちらかひとつのみを視聴させた。

例えば 1 つのターゲット文に関して、「させて型」と「する型」では以下のように異なる。

させて型：説明会を始めさせていただきます。

する型　：説明会を始めます。

実験に使用した動画への URL を以下に記載する。

させて型：<http://skiyama.com/OUCsaseru>

する型：<http://skiyama.com/OUCsuru>

第二部では、提示された文に対して感じる違和感を 1（まったく感じない）～4（非常に感じる）の 4 段階で評定してもらう作業を行った。文は第一部で使用したターゲット文 22 文とフィラー文 22 文の計 44 文を使用した。

ターゲット文は、半数の 11 文を「させて型」で使用した「させていただく」を使用した文、残りの 11 文を「する型」で使用した「させていただく」の部分をほかの適切な言い回しに置き換えたものを使用した。すべてのターゲット文で「させて型」と「する型」の両方についてデータを取得するため、ターゲット文の「させて型」と「する型」が逆になっている 2 つのバージョンを作成した。

実験にあたって、回答者には動画を「させる型」・「する型」から一種類のみを視聴させたうえで回答、文の評定に関しては「バージョン 1」もしくは「バージョン 2」のどちらか片方のみを回答させた。

30 代～50 代の男女 316 名の回答を有効とした。内訳は男性が 163 名、女性が 153 名であり、年代別では 30 代が 122 名、40 代が 106 名、50 代が 88 名である。

調査で得られたデータは、第一部・第二部ともに統計ソフトウェアの「R」（バージョン→3.1.1）を用いて分析した。

第一部で得たデータである動画内の人物に対する印象評定データは、「年代」・「性別」・「動画内容（させて型・する型）」を独立変数とし、「丁寧さ」・「立派さ」・「尊大さ」・「卑屈さ」・「謙虚さ」のそれぞれを従属変数として分散分析（analysis of variance, ANOVA）を行った。

第二部で得たデータである文に対する違和感評定データの分析には線形混合モデル (Linear-Mixed Effect Model, LME Model) を使用した。データの標準化を行ったうえで、「文への違和感」に対する「年齢」・「性別」・「ターゲット文の内容 (させる型/する型)」・「ターゲット文の属するクラスター」の主効果・相互作用を分析した。LME モデルでの分析には、R (バージョン 3.1.1) に加えて lme4 パッケージ (Bates, Maechler, Bolker, & Walker, 2014) と lmer パッケージ (Kuznetsova, Brockhoff, & Christensen, 2014) を使用した。

表1 ターゲット文一覧（させて型/する型）

| ItemID | させて型 | Cluster |
|--------|---|---------|
| 1 | それでは時間になりましたので、百九十九銀行の企業説明会を始め(させていただきます/ます)。 | 2 |
| 2 | 予約票は説明会の途中で回収(させていただきます/いたします)ので、机の上に用意しておいてください。 | 2 |
| 3 | まず最初に私の自己紹介を(させていただきます/いたします)。 | 2 |
| 4 | 2015年にこちら北東大学の文学部を卒業(させていただき/いたし)まして、現在百九十九銀行勤務3年目になります。 | 1 |
| 5 | 弊行の説明会を開催(させていただく/する)ということで、私が皆さんと年が近い若手行員として参りました。 | 2 |
| 6 | きれいな新しい教室に感動(させていただきました/いたしました)。 | 1 |
| 7 | 本日の説明会の流れですが、百九十九銀行の概要、経営戦略、福利厚生やワークライフバランスについて、最後に採用情報という順で進め(させていただきます/ます)。 | 2 |
| 8 | 明治13年に第百九十九国立銀行として仙台で営業を開始(させていただき/し)、明治30年に株式会社百九十九銀行へと改組して現在の百九十九銀行となりました。 | 1 |
| 9 | 仙台、宮城、また東北の方々の力となれるよう真摯に業務に取り組(ませてもらって/んで)おります。 | 1 |
| 10 | 単体自己資本比率は9.52%、連結自己資本比率は9.91%と安定した経営を(させてもらって/して)おります。 | 1 |
| 11 | 利用者側の目線に立ったサービスの展開を計画(させてもらって/して)しております。 | 1 |
| 12 | 福利厚生、また採用情報についてもお話(させていただきます/いたします)。 | 2 |
| 13 | 弊行は完全週休二日制としており、そのほかにも有給休暇の積極使用奨励や育児休暇、介護休暇の取得促進も(させてもらって/して)おります。 | 1 |
| 14 | 行員を大切にす充実した福利厚生を提供(させてもらって/して)しております。 | 1 |
| 15 | 今年も昨年と同じく新卒100名程度を採用(させていただく/する)予定です。 | 2 |
| 16 | 選考方法は例年通り面接とWebテストなどによるものと(させていただきます/いたします)。 | 2 |
| 17 | エントリーシートの提出期限についてご案内を(させていただきます/いたします)。 | 2 |
| 18 | エントリーシートは4月30日を最終締め切りと(させてもらって/いたします)。 | 2 |
| 19 | 以上で弊行の説明を終わ(らせていただきます/ります)。 | 2 |
| 20 | 次の時間にはこちらの教室で講義があるということなので、質問はいつたんここで一区切りと(させていただきます/いたします)。 | 2 |
| 21 | 後日個別にお答え(させていただきます/いたします)。 | 2 |
| 22 | 皆様の就職活動が実りあるものとなるよう祈念するとともに、本選考で皆様とお会いできることを楽しみに(させてもらって/して)おります。 | 1 |

3.2 調査結果

分析結果は表 3～13 に示されたとおりである。

表 3 丁寧さの平均 (M) と標準偏差 (SD)

| 尺度 | 年代 | 性別 | 動画内容 | 平均(M) | 標準偏差 (SD) |
|----|-----|----|------|-----------|------------------|
| 丁寧 | | | | | |
| | 30代 | 男性 | させて型 | 4.73 | 0.90 |
| | | | する型 | 4.86 | 0.78 |
| | | 女性 | させて型 | 5.07 | 0.95 |
| | | | する型 | 5.31 | 0.72 |
| | 40代 | 男性 | させて型 | 4.94 | 1.01 |
| | | | する型 | 5.11 | 0.72 |
| | | 女性 | させて型 | 5.08 | 0.86 |
| | | | する型 | 5.09 | 0.88 |
| | 50代 | 男性 | させて型 | 4.50 | 1.09 |
| | | | する型 | 4.86 | 0.79 |
| | | 女性 | させて型 | 5.21 | 0.86 |
| | | | する型 | 5.19 | 0.95 |

表 4 立派さの平均 (M) と標準偏差 (SD)

| 尺度 | 年代 | 性別 | 動画内容 | 平均(M) | 標準偏差 (SD) |
|----|-----|----|------|-----------|------------------|
| 立派 | | | | | |
| | 30代 | 男性 | させて型 | 3.23 | 1.19 |
| | | | する型 | 3.10 | 1.16 |
| | | 女性 | させて型 | 3.39 | 0.93 |
| | | | する型 | 3.54 | 1.28 |
| | 40代 | 男性 | させて型 | 3.55 | 1.07 |
| | | | する型 | 3.37 | 0.87 |
| | | 女性 | させて型 | 3.00 | 0.96 |
| | | | する型 | 3.38 | 1.11 |
| | 50代 | 男性 | させて型 | 3.53 | 0.99 |
| | | | する型 | 3.46 | 1.05 |
| | | 女性 | させて型 | 3.36 | 1.04 |
| | | | する型 | 3.81 | 0.81 |

表 5 尊大さの平均 (M) と標準偏差 (SD)

| 尺度 | 年代 | 性別 | 動画内容 | 平均(M) | 標準偏差 (SD) |
|----|-----|----|------|-----------|------------------|
| 尊大 | | | | | |
| | 30代 | 男性 | させて型 | 2.50 | 1.15 |
| | | | する型 | 2.38 | 1.00 |
| | | 女性 | させて型 | 2.37 | 1.05 |
| | | | する型 | 2.69 | 1.07 |
| | 40代 | 男性 | させて型 | 2.48 | 1.01 |
| | | | する型 | 2.26 | 0.96 |
| | | 女性 | させて型 | 2.29 | 1.14 |
| | | | する型 | 2.16 | 0.87 |
| | 50代 | 男性 | させて型 | 2.63 | 1.08 |
| | | | する型 | 2.36 | 1.11 |
| | | 女性 | させて型 | 2.64 | 0.89 |
| | | | する型 | 2.13 | 1.22 |

表 6 卑屈さの平均 (M) と標準偏差 (SD)

| 尺度 | 年代 | 性別 | 動画内容 | 平均(M) | 標準偏差 (SD) |
|----|-----|----|------|-----------|------------------|
| 卑屈 | | | | | |
| | 30代 | 男性 | させて型 | 2.23 | 1.28 |
| | | | する型 | 2.00 | 1.02 |
| | | 女性 | させて型 | 2.02 | 1.12 |
| | | | する型 | 1.35 | 0.55 |
| | 40代 | 男性 | させて型 | 2.29 | 1.22 |
| | | | する型 | 1.53 | 0.75 |
| | | 女性 | させて型 | 2.04 | 1.37 |
| | | | する型 | 1.69 | 0.77 |
| | 50代 | 男性 | させて型 | 2.10 | 1.14 |
| | | | する型 | 1.82 | 0.80 |
| | | 女性 | させて型 | 1.93 | 1.28 |
| | | | する型 | 1.25 | 0.66 |

表7 謙虚さの平均 (M) と標準偏差 (SD)

| 尺度 | 年代 | 性別 | 動画内容 | 平均(M) | 標準偏差 (SD) |
|----|-----|----|------|-----------|------------------|
| 謙虚 | | | | | |
| | 30代 | 男性 | させて型 | 4.27 | 1.02 |
| | | | する型 | 4.34 | 1.09 |
| | | 女性 | させて型 | 4.49 | 1.04 |
| | | | する型 | 4.62 | 1.42 |
| | 40代 | 男性 | させて型 | 4.52 | 0.98 |
| | | | する型 | 4.26 | 1.45 |
| | | 女性 | させて型 | 4.67 | 1.14 |
| | | | する型 | 4.50 | 1.03 |
| | 50代 | 男性 | させて型 | 4.27 | 1.12 |
| | | | する型 | 4.36 | 1.01 |
| | | 女性 | させて型 | 3.86 | 1.30 |
| | | | する型 | 4.38 | 1.27 |

表8 「丁寧さ」分散分析結果

| 変数 | df | MS | F | p |
|------------|------|-------|--------|--------|
| 動画内容 | 1 | 1.687 | 2.045 | .154 |
| 性別 | 1 | 8.482 | 10.281 | .001** |
| 年代 | 2 | 0.440 | 0.533 | .587 |
| 動画内容:性別 | 1 | 0.303 | 0.367 | .545 |
| 動画内容:年代 | 2 | 0.104 | 0.126 | .882 |
| 性別:年代 | 2 | 1.350 | 1.636 | .196 |
| 動画内容:性別:年代 | 2 | 0.360 | 0.436 | .647 |

**: $p < .005$

表9 「立派さ」分散分析結果表

| 変数 | df | MS | F | p |
|------------|------|-------|-------|-------|
| 動画内容 | 1 | 0.157 | 0.136 | .713 |
| 性別 | 1 | 0.011 | 0.009 | .922 |
| 年代 | 2 | 1.424 | 1.232 | .293 |
| 動画内容:性別 | 1 | 3.323 | 2.877 | .091. |
| 動画内容:年代 | 2 | 0.193 | 0.167 | .847 |
| 性別:年代 | 2 | 2.326 | 2.014 | .135 |
| 動画内容:性別:年代 | 2 | 0.159 | 0.138 | .872 |

表 10 「尊大さ」分散分析結果

| 変数 | <i>df</i> | <i>MS</i> | <i>F</i> | <i>p</i> |
|------------|-----------|-----------|----------|----------|
| 動画内容 | 1 | 1.260 | 1.102 | .295 |
| 性別 | 1 | 0.529 | 0.463 | .497 |
| 年代 | 2 | 0.865 | 0.757 | .470 |
| 動画内容:性別 | 1 | 0.711 | 0.622 | .431 |
| 動画内容:年代 | 2 | 1.342 | 1.175 | .310 |
| 性別:年代 | 2 | 0.326 | 0.285 | .752 |
| 動画内容:性別:年代 | 2 | 0.716 | 0.626 | .535 |

表 11 「卑屈さ」分散分析結果

| 変数 | <i>df</i> | <i>MS</i> | <i>F</i> | <i>p</i> |
|------------|-----------|-----------|----------|----------|
| 動画内容 | 1 | 16.587 | 14.867 | <.001*** |
| 性別 | 1 | 5.878 | 5.268 | .022* |
| 年代 | 2 | 0.657 | .0589 | .556 |
| 動画内容:性別 | 1 | 0.452 | 0.405 | .525 |
| 動画内容:年代 | 2 | 0.065 | 0.058 | .944 |
| 性別:年代 | 2 | 0.934 | 0.837 | .434 |
| 動画内容:性別:年代 | 2 | 1.472 | 1.320 | .269 |

*: $p < .05$, ***: $p < .001$

表 12 「謙虚さ」分散分析結果

| 変数 | <i>df</i> | <i>MS</i> | <i>F</i> | <i>p</i> |
|------------|-----------|-----------|----------|----------|
| 動画内容 | 1 | 0.075 | 0.056 | .813 |
| 性別 | 1 | 1.274 | 0.948 | .331 |
| 年代 | 2 | 1.309 | 0.974 | .379 |
| 動画内容:性別 | 1 | 0.247 | 0.183 | .669 |
| 動画内容:年代 | 2 | 1.380 | 1.026 | .360 |
| 性別:年代 | 2 | 1.062 | 0.790 | .455 |
| 動画内容:性別:年代 | 2 | 0.236 | 0.176 | .839 |

表13 ターゲット文における違和感の標準化LME分析結果

| 対比変数 | β | 信頼区間[上限,下限] | t | p |
|---|---------|---------------|---------|----------|
| 年齢 | 0.045 | [-0.07,0.16] | 0.798 | .423 |
| 男性 vs. 女性 | -0.135 | [-0.28,0.01] | -1.885 | .060 |
| させて型 vs. する型 | -0.782 | [-0.87,-0.70] | -18.038 | <.001*** |
| クラスタ1 vs. クラスタ2 | -0.706 | [-0.92,-0.49] | -6.755 | <.001*** |
| 年齢 vs. 男性/女性 | <.001 | [-0.14,0.14] | 0.003 | .998 |
| 男性/女性 vs. させて型/する型 | 0.265 | [0.15,0.38] | 4.414 | <.001*** |
| 年齢 vs. させて型/する型 | 0.017 | [-0.08,0.11] | 0.355 | .723 |
| 男性/女性 vs. クラスタ1/クラスタ2 | 0.233 | [0.13,0.34] | 4.247 | <.001*** |
| 年齢 vs. クラスタ1/クラスタ2 | -0.078 | [-0.16,0.01] | -1.696 | .090 |
| させて型/する型 vs. クラスタ1/クラスタ2 | 0.701 | [0.59,0.81] | 12.314 | <.001*** |
| 年齢 vs. 男性/女性 vs. させて型/する型 | -0.086 | [-0.21,0.03] | -1.406 | .160 |
| 年齢 vs. 男性/女性 vs. クラスタ1/クラスタ2 | -0.021 | [-0.13,0.09] | -0.384 | .701 |
| 男性/女性 vs. させて型/する型 vs. クラスタ1/クラスタ2 | -0.241 | [-0.40,-0.09] | -3.046 | .002** |
| 年齢 vs. させて型/する型 vs. クラスタ1/クラスタ2 | 0.128 | [0.01,0.24] | 2.080 | .038* |
| 年齢 vs. 男性/女性 vs. させて型/する型 vs. クラスタ1/クラスタ2 | 0.048 | [-0.11,0.20] | 0.596 | .551 |

*: $p < .05$ **: $p < .005$ ***: $p < .001$

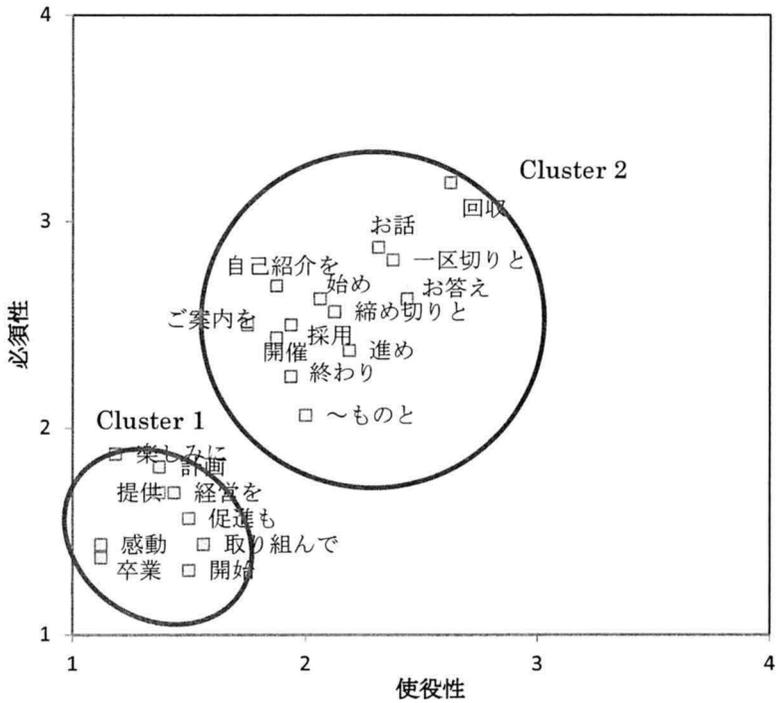


図1 使役性と必須性の散布図

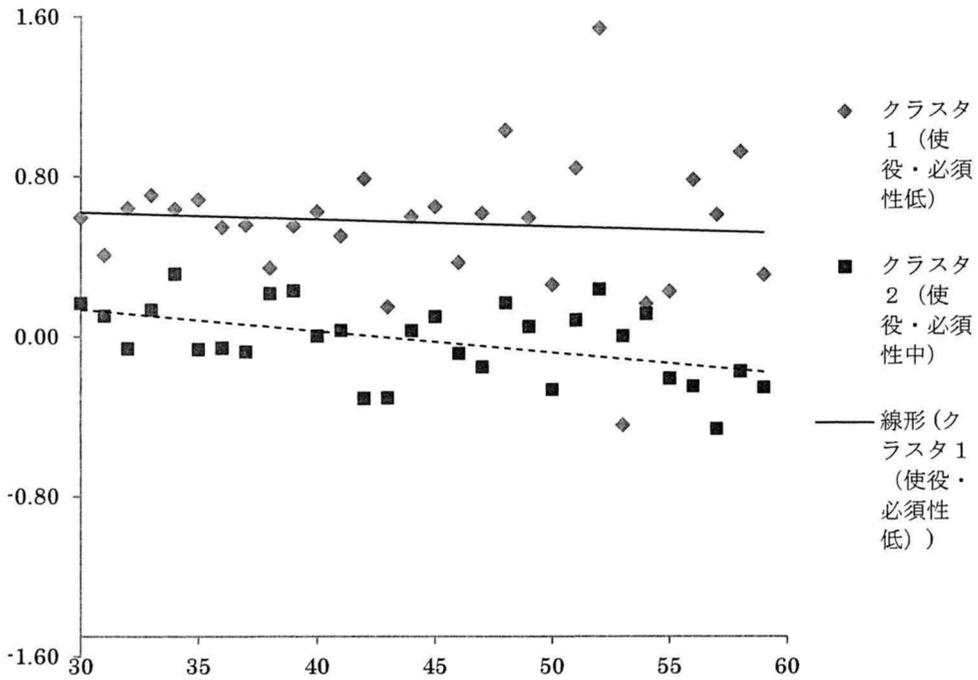


図2 クラスタごとの年齢と違和感回答平均の差 (させる型-する型) 散布図

4 考察

4.1 第一部・動画の印象評定

動画の印象評定の結果として特筆すべきことは、「卑屈さ」の評定値が年代・性別問わず「させる型」が「する型」よりも有意に高い値を示していることである。このことに関して、「させていただく」の「文法化」はまだ現在進行中であるため単なる敬語の一形式として落ち着いておらず、「させていただく」が過剰敬語と受け止められた結果「させて型」で「卑屈さ」が比較的強く感じられたのではないと思われる。

4.2 第二部・文に対する違和感評定

第二部の文に対する印象評定で特に注目すべき結果は、年齢・させる型/する型・クラスタ 1/クラスタ 2 の有意な差である。

図 2 は横軸が年齢であり縦軸が「させる型」の違和感評定値から「する型」の違和感評定値を引いた差である。「必須性」・「使役性」が低い文のまとまりであるクラスタ 1 と「必須性」・「使役性」が比較的高い文のまとまりであるクラスタ 2 の違和感差（「させる型」-「する型」）の回帰直線を引いている。

図 2 からは次のような内容が観察できる。

- ①クラスタ 1 の違和感は、クラスタ 2 の違和感に比べて強い
- ②クラスタ 1 への違和感は 30 代～50 代通してほとんど変わらない
- ③クラスタ 1 の違和感のばらつきは年齢が高くなると大きくなっている
- ④クラスタ 2 への違和感は 30 代に比べて 50 代の方が低い

滝浦（2016）・椎名（2017）の基準と照らし合わせると、クラスタ 1 には低必須・使役性の「無関係型用法」が含まれ、クラスタ 2 には比較的正用として受け入れられやすい用法に加えて中程度の必須・使役性を持つ「実質的強制型用法」と「無許可型用法」が含まれていると言える。図 2 から読み取れる「クラスタ 1 の文はクラスタ 2 の文より違和感が強い」と

いう内容は、椎名（2017）の「「必須性」・次いで「使役性」が「させていただく」への違和感に強く作用する」という主張を支持するものであると考えることができる。

一方で、「無関係型用法」（滝浦 2016）が含まれると考えられるクラスタ 1 の文において世代差が見られない状況は、「「必須性」・「使役性」が低い文に対する違和感は、若年層<中高齢層」であるという椎名（2017）の調査結果と異なる。この結果の理由として、「させていただく」は「文法化」のプロセスの途中であるが、「必須性」・「使役性」に著しく乏しい文脈における「させていただく」、すなわち「させていただく」の無関係型用法は世代を問わずまだ受け入れられる段階にないということが考えられる。

クラスタ 2 への違和感評定値が若年層に比べて高齢層の方が低いという結果は一見椎名（2017）の調査結果と異なり、塩田（2016）の「高齢者ほど「させていただく」を好む傾向が強い」という主張を支持しているように見ることができる。この結果から次のようなことが考えられる。図 2 からクラスタ 2 の文の違和感評定平均値の回帰直線は右下がり、すなわち年齢が高いほどクラスタ 2 の「させていただく」に対しての違和感が低いということは明らかである。一方でクラスタ 1・クラスタ 2 それぞれの年齢ごとの違和感評定値の差のばらつきに着目すると比較的若年層ではばらつきが少ないが比較的高齢層では特にクラスタ 1 でのばらつきが大きい。また、クラスタ 1 への違和感評定値が年代によって変わらないので、高齢層ほどクラスタ間の違和感評定値の差が大きくなっている。このことから、先行研究を参考に以下のような考察ができるのではないかと考える。

考察：「させていただく」の「文法化」プロセスは若年層を中心に進んでおり、その結果として丁寧語としての「文法化」が進んでいる若年層ではクラスタ間の違和感評定値の差が小さくなった。他方で、まだ「文法化」の影響が少ない比較的高齢層では文理解の際に「させていただく」を使用する文における「必須性」・「使役性」をその都度検討しているため、クラスタ 2 では一部「させていただく」の正用性を認めたことによって違和感評定値が下がっている。

これならば、塩田（2016）の「高齢者ほど「させていただく」を好む」⇔「高齢者ほど「させていただく」への違和感が小さい」という主張を限定的ではあるが支持しながら、なおかつ一見対立するように見えるデータであるが井上（1998, 2017）、滝浦（2016）や椎名（2017）の「「させていただく」の用法拡大・変化は現在進行中のものである」という指摘の根拠の一つともみることができる。

本調査第二部における仮説は、一部支持されたと考えられる。また、仮説とは異なる結果となった部分もあるが、本調査を通して示唆に富むデータが得られたと考えることができるのではないだろうか。

5 結論と今後の課題

本稿では動画を用いた「させていただく」を多用する人物への印象評定調査と「させていただく」を使用した文への違和感の評定調査を行い、その結果を記してきた。

本稿で立てた仮説を支持する結果は一部のみにとどまった。特に動画の印象調査では課題の残る調査結果とはなったものの、公表されている「させていただく」研究には動画を用いた調査を行っているものはない。その点で、本調査は「させていただく」問題系に関する新たな視点をもたらすための助けとなると思われる。また、文への違和感の評定調査では興味深い結果を得ることができた。

今後の課題としては、まず動画を用いた調査の手法を洗練し、さらに正確なデータを得ることで最終的に「させていただく」問題系の解明の一助とすることを目指すことが挙げられる。また、回答者の年代範囲をさらに広げ、その中でのデータを検証していくこともできるだろう。さらには、本稿の内容とはすこし離れるが、コーパスを用いるなどして「文法化」のプロセスが進行中であるとされる「させていただく」の用法の変化を追っていくことによってある「ことば」の変化の過程全体を観察できるかもしれない。「させていただく」は非常に興味深い問題系を持っている。今後も、動画を用いた調査を含めて様々な調査によって「させていただく」の本質、ひいては言語の本質に迫っていくことが期待される。

参考文献

- 井上史雄 (1999) 『敬語はこわくない』 東京：講談社現代新書
- 井上史雄 (2017) 『敬語は変わる 大規模調査からわかる百年の動き』 東京：大修館書店
- 文化庁 (2007) 『敬語の指針』 文化審議会答申
- 塩田雄大 (2016) 「“させていただきます”について書かせていただきます
～2015年「日本語のゆれに関する調査」から②～」 『放送研究と調査』9月号 26-41 東京：NHK 出版
- 滝浦真人 (2016) 「社会語用論」 加藤重広・滝浦真人編 『語用論研究法ガイドブック』 東京：ひつじ書房
- 滝浦真人・椎名美智 (2017) 「「させていただきます」について発表させていただきます。」
第5回動的語用論研究会発表資料
- 椎名美智 (2017) 「「させていただきます」という問題系 「文法化」と「新丁寧語」の誕生」
加藤重広・滝浦真人編 『日本語語用論フォーラム2』 75-105
東京：ひつじ書房
- Bates, D., Maechler, M., Bolker, B., & Walker, S. (2014). lme4: Linear mixed-effects models using Eigen and S4. R package version 1.1-6. Retrieved from <http://CRAN.R-project.org/package=lme4>Kuznetsova, Brockhoff, & Christensen, 2014.